



天皇皇后両陛下ご来垣

～「奥の細道むすびの地記念館」をご視察～

12月5日、天皇皇后両陛下のご訪問(行幸啓)が、21年ぶりに行われました。両陛下は、今年開通したばかりの東海環状自動車道大垣西ICから市内に入られ、スイトピアセンター学習館でご昼食後、奥の細道むすびの地記念館をご視察されました。館内では、小川市長の先導

のもと、松尾芭蕉自身が描いた俳画や芭蕉が描かれた肖像画などの展示資料を、約30分に渡りご覧になられました。また、同館で行っている子ども俳句教室の作品や紹介パネルをご覧になられ、天皇陛下は「子どもたちが大人になっても、ずっと俳句に関心を持ち続けていられるといいで

すね」と述べられました。当日は、大勢の市民の皆さんが沿道に詰めかけ、両陛下をお迎えしました。両陛下は車中からお手を振られ、市民の声に応えられていました。なお、奥の細道むすびの地記念館では、12月15日から今回の行幸啓の写真パネル展を行います。



貴重な一票  
忘れず投票を

衆議院議員総選挙  
最高裁判所裁判官国民審査

投票日  
12月16日

衆議院議員総選挙および最高裁判所裁判官国民審査の投票が、12月16日(日)に行われます。投票時間は、午前7時から午後8時まで(上石津の西山・時山は午後7時まで)。

あなたの貴重な一票を大切に、投票は忘れず、必ず行きましょう。また、1月には岐阜県知事選挙も次のとおり予定されています。こちらも忘れず投票に行きましょう。詳しくは、市選挙管理委員会(内線851・852)へ。

岐阜県知事選挙

投票日 1月27日

第4回市議会定例会

▶一般会計補正予算などを審議◀

第4回市議会定例会が12月3日に開会しました。この日、会期を12月18日までの16日間と決めた後、人事案件2議案を先議。教育委員会委員に山本讓氏(新任)を任命、固定資産評価審査委員会委員に堤俊彦氏(再任)を選任することに同意しました。続いて、平成24年度一般会計補正予算など30議案が一括上程され、小川市長が提案理由の説明を行いました。説明に先立ち、小川市長は11月18日のかみいしづ緑の村公園における事故により亡くなられたお子さんに対し、哀悼の意を表しました。

上程された30議案のうち、9月に発生した大雨による上石津地域の災害復旧に係る一般会計および簡易水道事業会計の補正予算2議案と手数料徴収条例の一部改正の1議案は、直ちに担当委員会に付託。審査の後、委員長から報告が行われ、原案どおり即日可決されました。

残る27議案や続いて上程された「敦賀原発1号機、美浜原発1・2号機のすみやかな廃炉を国に求める請願書」は、各担当委員会に付託され、審査のうえ最終日の本会議で採決される予定です。

また、10日には12人の議員から、市政全般についての一般質問も行われました。

議決された議案については、本紙1月1日号でお知らせします。

私は、固有の歴史文化遺産である大垣城や奥の細道むすびの地、美濃路などを活かしながら、回遊性のあるまちづくりに取り組みしていきたいと思っております。

11月20日には、富山県高岡市でもシンポジウムが行われ、私も参加して本市の取り組みを紹介してきました。高岡市は、人口17万8千人の県内第2の都市で、大垣とほぼ同規模のまちです。駅前にはアーケード街が長く続き、シャッターが下りた店が散見され、本市とよく似た状況でした。車社会の進展により、人の集まる場所が分散し、中心市街地の求心力の低下はどのまちでも共通の課題となっております。



(11月5日、総合福祉会館にて)

内閣府や大垣市などが主催する「中心市街地活性化全国リレーシンポジウムin大垣」が、11月5日、総合福祉会館で行われました。このシンポジウムは、中心市街地の活性化に寄与する全国各地の先進事例などを紹介し、議論しようというものです。特に本市では、毎月第1日曜日に大垣駅通りで開催される「元氣ハツラツ市」が、全国的にも注目されています。平成22年度から始まった「元氣ハツラツ市」の人も年を追うごとに増え、1回あたりを平均すると約3万5千人の人々が集まっています。毎回、中心市街地一帯を歩行者天国にして、ステイジイベントや物産展、フリーマーケットなどを開催しており、郊外の大規模商業施設の集客が強まる中、まちなかに「にぎわい」を創り出す事業として効果を上げています。

市長の  
かなやきん  
中心市街地活性化  
全国リレーシンポジウム  
大垣市長 小川 敏